最初にお読みください

Panasonic



パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-L2シリーズ

LET'S NOTE

Me

本書以外のマニュアル

- 取扱説明書『補足説明』
- H" IN モジュールの使いかた
- H" IN サインアップマニュアル
- H" 向けアプリケーションソフト取扱説明書（画面で見るマニュアル）
- 操作マニュアル（画面で見るマニュアル）

本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。

もくじ

使用上のお願い/キーの組み合わせによる操作/状態表示ランプ/フラットパッドの操作/スタンバイ・休止状態機能/セキュリティ機能/省電力機能/バッテリーパック/画面切換ユーティリティ/USERボタン/マルチメディアポケット/CDドライブ/PCカード/RAMモジュール/プリンター/外部ディスプレイ/USB機器/モデム/携帯電話・PHS電話/LAN機能/セットアップユーティリティ/技術情報/DMIビューアー/エラーコードが表示されたら/困ったときのQ&A

画面で見るマニュアルの見かたについては16ページを参照してください。

上手に使って上手に節電

もくじ

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

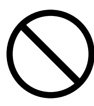
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

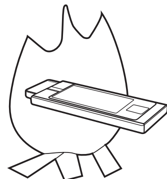
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意 

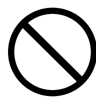
火中に投入したり加熱したりしない

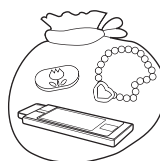




発熱・発火・破裂の原因になります。

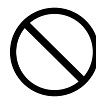
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

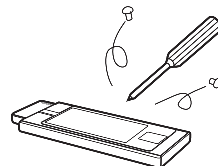




発熱・発火・破裂の原因になります。

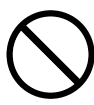
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

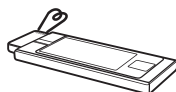




発熱・発火・破裂の原因になります。

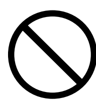
プラス(+)とマイナス(−)を金属などで接触させない

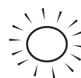


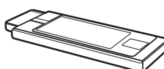


発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない



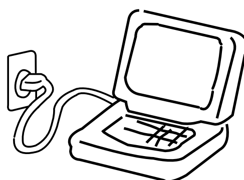




発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

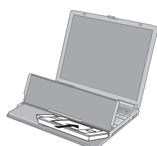




取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する





CF-L2 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く



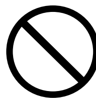
電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災•感電の原因になります。

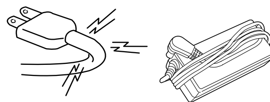
● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

電源コード•電源プラグ•ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



禁止

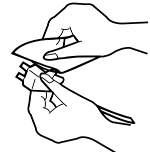


傷んだまま使用すると、感電•ショート•火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、ご相談窓口にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

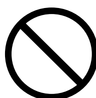




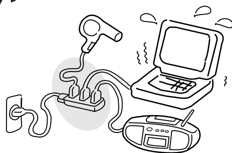
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

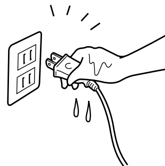


たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



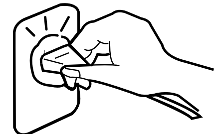
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

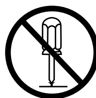




差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない



分解禁止

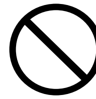
⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない



[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない



禁止



水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

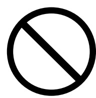
● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

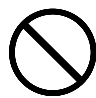
⚠注意

不安定な場所に置かない


禁止

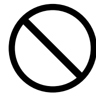
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない


禁止

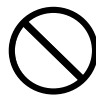
火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない


禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

通風孔をふさがない


禁止

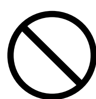
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩をとる



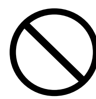
長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない


禁止

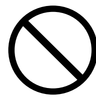
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない


禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

長時間直接触れて使用しない


禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

必ず指定のACアダプターを使用する



指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する



会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない


禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

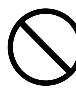
● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いてご相談窓口にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

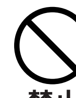
ひび割れたり変形したりしたCDは使用しない


禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないCDや、接着剤などで補修したCDも同様に危険ですので、使用しないでください。

CD-R/RWドライブの内部をのぞきこまない


禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

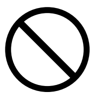
⚠警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22㎝以上離す



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

航空機内では電源を切る[*1]



運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る[*1]**（手術室、集中治療室、CCU**[*2]**等には持ち込まない）**



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

*2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る[*1]



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 コンピューター本体を使用したいときは、H"INモジュールスイッチをオフにしてください。（☞『H"INモジュールの使いかた』）

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]-[プログラム]：画面上の［スタート］をクリックした後、［プログラム］をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
(Enter)：キーボードのEnterキーを押します。
(Fn)+(F5)：キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
☞ 操作マニュアル：操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。16ページに記載の方法で起動し、参照してください。
CD-R/RWドライブ：操作マニュアルでは「CDドライブ」と記載していますが、本機はCD-R/RWドライブを搭載しています。
別売り商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各周辺機器については操作マニュアルおよび周辺機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

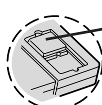
ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（🛢）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]-[Windowsの終了]を選び、操作を終了してください。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

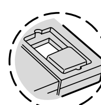
* 正式名称は Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating system です。本書では Windows と表記します。

フロッピーディスクのデータ保護

- フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
  フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
  フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- 書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。
  重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。



書き込み可能な状態


書き込み禁止の状態

- フロッピーディスクの取り扱いには注意する。
  データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  ・シャッターを手で開けない
  ・磁気を帯びたものを近づけない
  ・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  ・ラベルを重ねて貼らない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

コンピューターを快適に使用するには

リソース（コンピューターのハードウェア、ソフトウェア、データなどシステム資源の総称）不足により、使用中にハングアップ（フリーズ）する場合があります。以下の点に注意して使用してください。
・できるだけ常駐アプリケーションソフトを減らす
・同時にたくさんのウィンドウを開かない
・こまめにデータを保存する
・ときどきコンピューターを再起動する

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

本体（CD-R/RW ドライブ内蔵）以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

AC アダプター ..... 1 個		モジュラーケーブル ... 1 本	ウェイトセーバー ... 1 個
（品番：CF-AA1639A）	（電源コード1本付き）		取り付け/取り外しのしかたはCD-R/RWと同じです。（☞『操作マニュアル』「マルチメディアポケット」）
バッテリーパック ... 1 個	外部 FDD ..... 1 個	CD-ROM ..... 3 枚	アプリケーションパック .... 1 個
（品番：CF-VZSU19）	（品番：CF-VFDU03）	プロダクトリカバリー CD-ROM .. 2 枚 アプリケーション CD-ROM ... 1 枚	（Microsoft® Office XP Personal）

印刷物

- 取扱説明書（本書）
- 取扱説明書『補足説明』
- H" INモジュールの使いかた
- H" INサインアップマニュアル
- 法人ユーザー様向けDDIポケット契約申し込みガイド
- お買い求め後、すぐに「故障かな?」と思われたときは…
- ユーザーフォーラムのご紹介
- Microsoft® Office XP Personalのご案内
- 各種ご案内（Hi-HO、ドコモAOL、ニフティ、BIGLOBE、DION、OCN、ODN）
- B's Recorder GOLD/B's CLiPユーザー登録カード
- Windows Me クイックスタートガイド
- 保証書（保証書は梱包箱に貼り付けられています。）

お願い

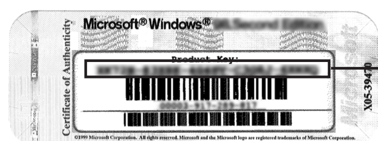
- CD-ROMおよびアプリケーションパックは再インストールを行う際に必要です。なくさないように大切に保管してください。別途、販売はできませんので、万一、紛失した場合は再インストールサービス（有償修理）を受けてください。（☞ 31 ページ）
- 11ページ手順*10*のバックアップディスク作成の際には、2HD フロッピーディスクを準備し、書き込み可能な状態にしておいてください。バックアップディスク作成に、1.2M バイトフォーマットの2HD フロッピーディスクは使えません。

2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 25ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体底面のラベルに記載されているプロダクトキー[Product Key]（数字とアルファベット）を取扱説明書『補足説明』の裏表紙の前ページなどに記入する

<プロダクトキーラベルの例>



ラベルのイメージは、予告なく変更されることがあります。

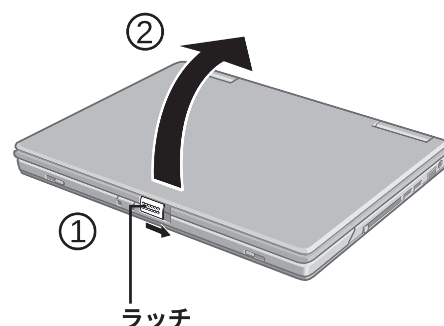
お願い

見間違えやすい文字に注意して記入してください。

Q ：アルファベットの Q（キュー）
8 ：数字の 8
B ：アルファベットの B（ビー）

4 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

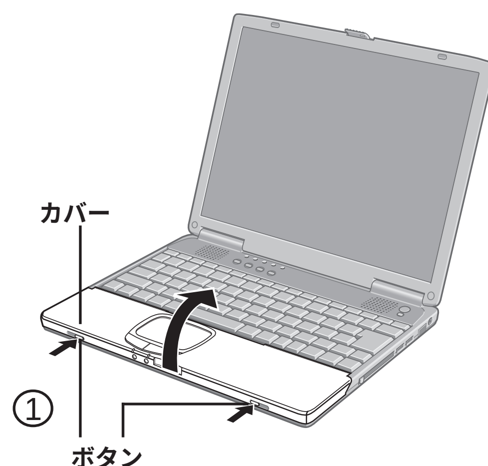


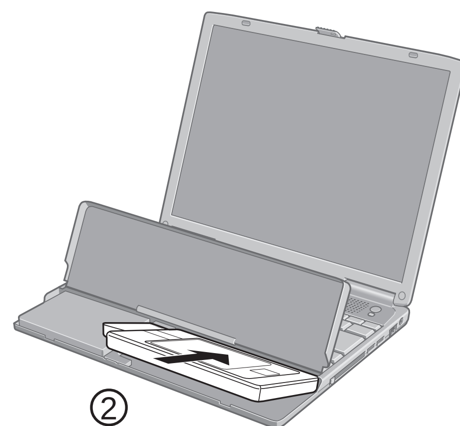
お願い

ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

5 バッテリーパックを取り付ける

①左右のボタンを押しながらカバーを開ける。
②バッテリーパックのコネクター部を、コンピューター側のコネクター部にあわせて矢印の方向に入れる。
③きちんとカバーを閉める。





お願い

- コネクターに確実に挿入してください。
- バッテリーパックのコネクター部に触れないようにしてください。端子が汚れると接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。
- バッテリーパックを取り付けた後は、必ずカバーを閉めてください。カバーを開けた状態でカバーに無理な力を加えると破損する恐れがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

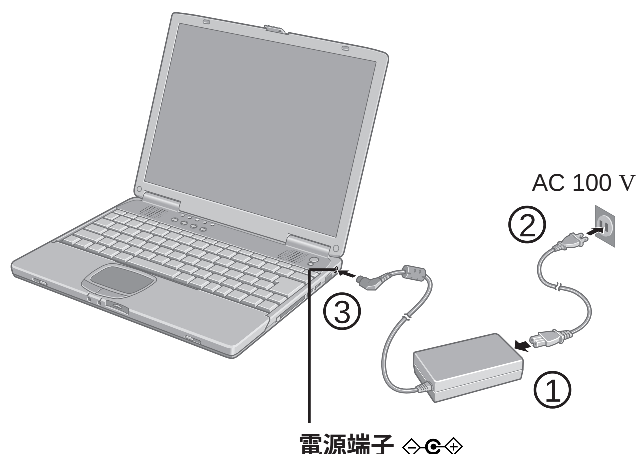
6 AC アダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

充電にかかる時間

電源入時：約3.5時間
電源切時：約3時間

（コンピューターの動作状態により異なります。）





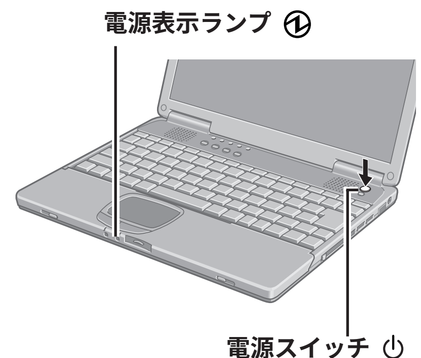
必ず指定の AC アダプターを使用する



指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。



お願い

- 電源スイッチを4秒以上押したままにしないでください。4秒以上押し続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続して押さないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- はじめて使うときは本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、フラットパッドやキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であっても、ディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態または休止状態になります（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。電源スイッチを押すとスタンバイ状態または休止状態になる前の状態に戻ります。

8 Windowsをセットアップする

カーソル(↖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 15ページ）

お願い

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

① 「Microsoft Windows へようこそ」画面で[次へ]を選ぶ。
② 「日本語の入力を練習しましょう」画面で「省略」を選ぶ。

お知らせ

日本語の入力練習をしたい場合は、[次へ]を選んで、画面の指示に従って操作してください。

③ 「タイムゾーンを選択する」画面で「（GMT +09:00）東京、大阪、札幌」が選ばれていることを確認して、[次へ]を選ぶ。
④ 「使用許諾契約書に同意」画面で使用許諾契約書をよく読んで、[同意します]を選び、[次へ]を選ぶ。

お願い

[同意しません]を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

⑤ 「登録先：Microsoft」画面で「いいえ、今は登録しません」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑥ 「設定が完了しました」画面で[完了]を選ぶ。

お願い

CD-R/RW ドライブをお使いになる前に
CD-R/RWドライブのディスク取り出しボタンを押して、トレイ上の保護シート（レンズ保護用の厚紙）を取り除いてください。（☞ 27ページ）

9 パソコンの電源を切る（☞ 13ページ）

（☞ 13ページ）

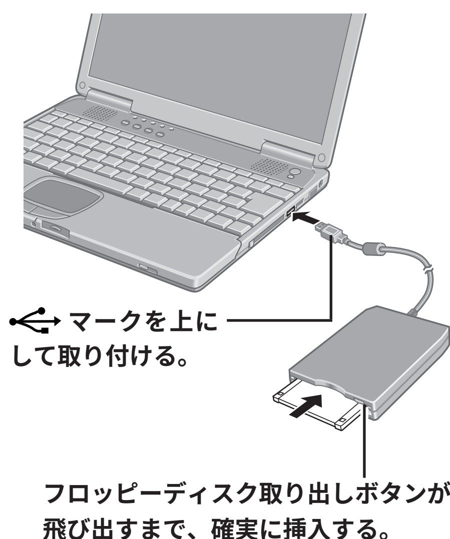
ポインターが砂時計(⌛)から通常のもの（↖）に戻り、HDDアクセスランプが消えるのを待ってから終了してください。

お願い

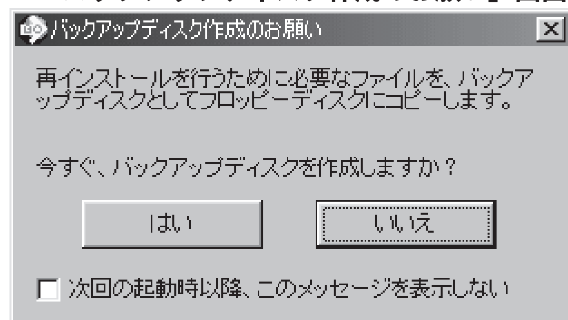
セットアップの完了後、いったん電源を切ってください。電源を切らずにそのまま使い続けると、Windowsが正常に動作しない場合があります。Windowsの終了操作の途中で正常に動作しなくなった場合や、電源を切らずにそのまま使い続けたために正常に動作しなくなった場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を切り、再度電源を入れてください。

10 再インストール用のフロッピーディスクを作成する

電源を入れ（☞ 次ページ）、フロッピーディスクドライブを取り付けてください。書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、「バックアップディスク作成のお願い」画面で［はい］を選んでください。以降、画面に従って操作してください。



<「バックアップディスク作成のお願い」画面>



この画面が表示されていないときは、[スタート]－[プログラム]－[Panasonic]－[バックアップディスク作成]を選んでください。

バックアップディスクには、以下のものがあります。

- ・ファーストエイド FD
- ・アップデート FD　（作成画面が表示された場合のみ）

作成したディスクにはラベルを貼り、名称（「ファーストエイドFD」など）を書いてください。

お願い

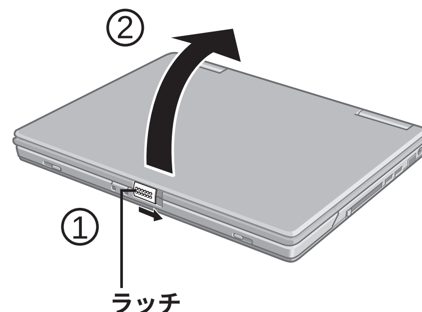
- 作成したバックアップディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、再インストールする（ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻す）ときに使います。大切に保管してください。
- バックアップディスクは、再インストールが必要になってからでは作成できないことがあります。
- ここで説明しているバックアップは、本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。
- バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクドライブのランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったり、スタンバイ・休止状態機能を使って終了しないでください（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。

操作を始める／終わる

操作を始める

1 ディスプレイを開ける

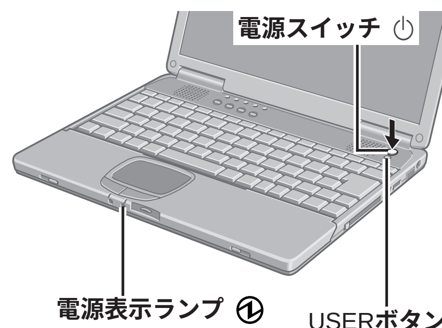
①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。



お願い

ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

2 電源を入れる



以下の2通りの方法があります。

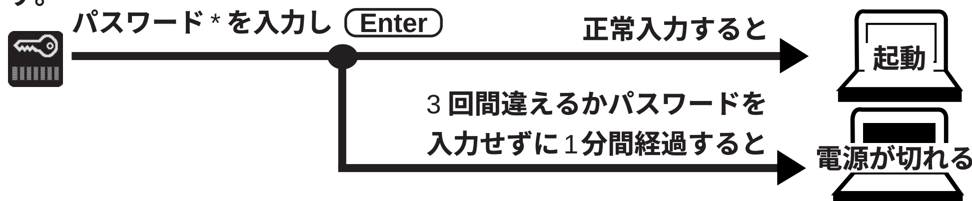
- 電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。
- USERボタンを押します。
  Windows起動後、USERボタンに登録されているアプリケーションソフトが起動します。（工場出荷時、アプリケーションソフトは登録されていません。）
  （☞『操作マニュアル』「USERボタン」）

お願い

- 起動中はポインターが砂時計（⌛）から通常のもの（↖）に戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
  - ACアダプターを抜き差しする。
  - 電源スイッチ、USERボタンを操作する。
  - キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 画面に🔑が表示されたら . . .

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。



＊ セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）

● 操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

操作の方法

3 操作をする

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
  この場合、フラットパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
  コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態になります（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。電源スイッチを押すとスタンバイ（または休止状態）になる前の状態に戻ります。
- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]で、「その他のデバイス」の「Misc. Button」（画面切換ボタン用のドライバー）に「?」がマークが付いていますが、異常ではありません。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときは、コンセント側を抜いておいてください。
（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 [スタート]-[Windowsの終了]を選ぶ

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには
[Windowsキー] を押し、「Windowsの終了」を選びます。

3 [終了]を選び、[OK]を選ぶ

自動的に電源が切れます。

操作を始める／終わる

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

[再起動]を選び、[OK]を選びます。

お願い

終了操作が行われている間は、以下のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き差しする。
- 電源スイッチ、USERボタンを操作する。
- キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

お知らせ

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい

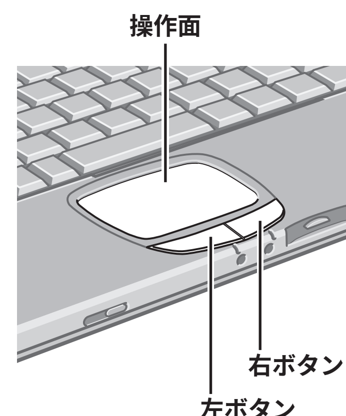
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞ 『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）

フラットパッドを使う（基本操作）

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
詳細については、『操作マニュアル』「フラットパッドの操作」を参照してください。

お願い
フラットパッドは、指で操作するたように設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ／クリック	タップ または クリック
ダブルタップ ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら、指を移動させる。



フラットパッドの取り扱い

- フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
- 操作面にものを置いたり、つめなどの先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- フラットパッドに汚れが付着した場合
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

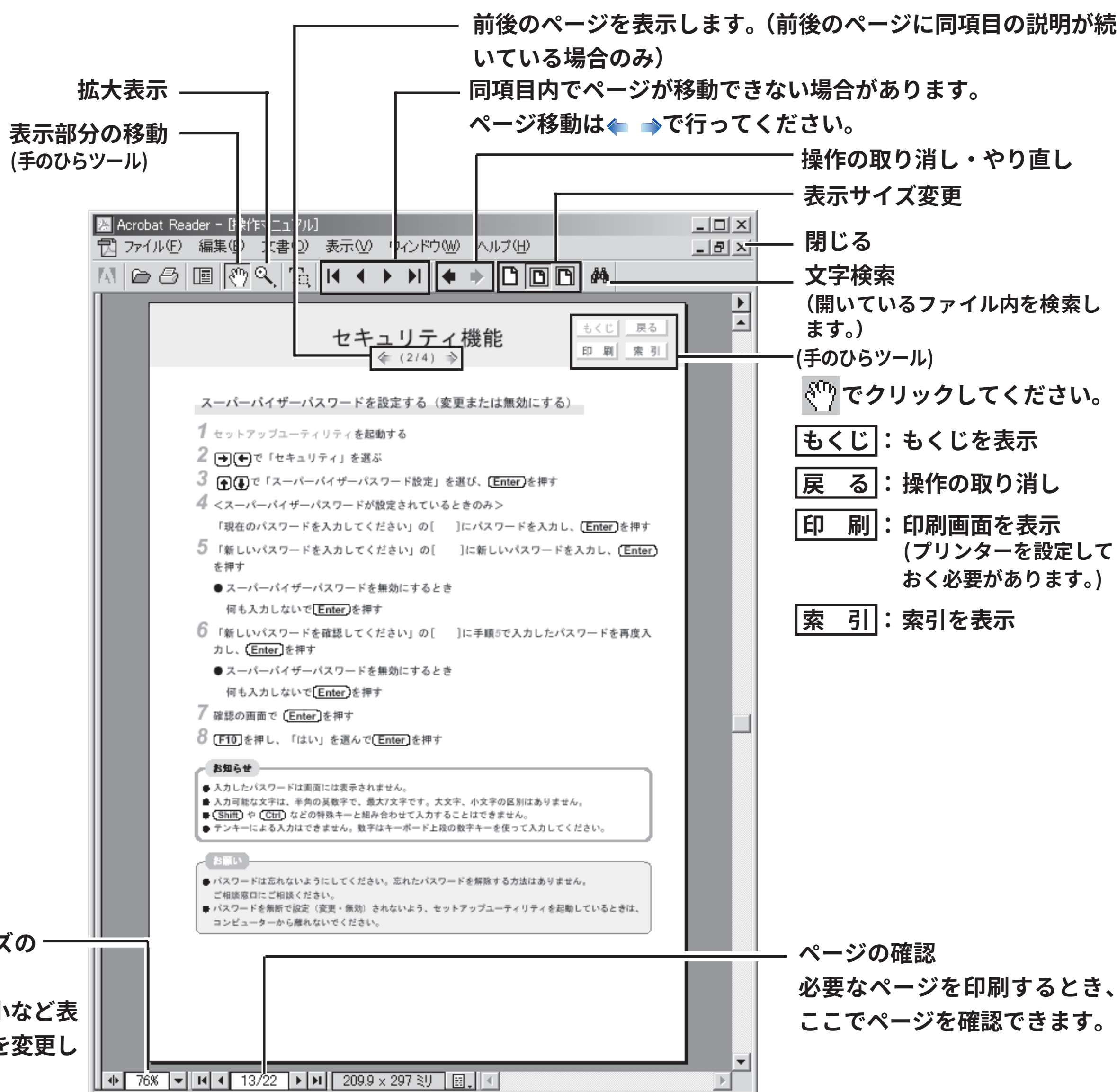
操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ
はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。



（画面は予告なく変更する場合があります。）

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、ページ右上の 印刷 をクリックすると印刷設定画面が表示されますので、必要なページを指定して印刷することができます。ページは、画面左下の「ページの確認」部分で確認してください。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

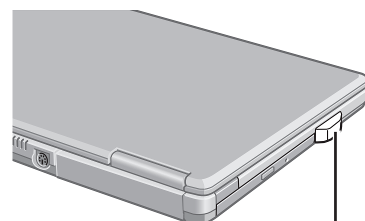
●適した場所

- 平らで落下のおそれがない場所
  コンピューターを縦に置いたりしないでください。
- 使用時の温度：5 ℃ 〜 35 ℃
  湿度：30 %RH 〜 80 %RH
  （結露なきこと）
  保管時の温度：-20 ℃ 〜 60 ℃
  湿度：30 %RH 〜 90 %RH
  （結露なきこと）

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図）をすべて取り外してください。
- 予備のバッテリーパック（別売り）を用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。ディスプレイを閉じる時は、ラッチ部分（☞ 9ページ）がきちんとかみ合っていることを確認してください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。
- H" INモジュールが本体から突き出ています。（右図）注意して持ち運んでください。「安全上のご注意」もあわせてお読みください。



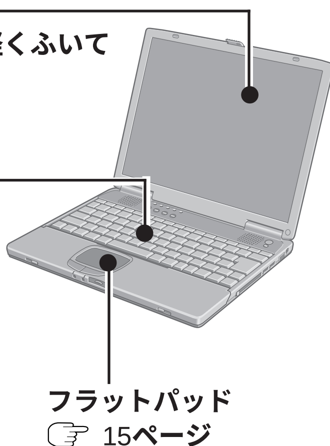


H" INモジュール

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。



フラットパッド
☞ 15ページ

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。『操作マニュアル』でも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

お願い

［コントロールパネル］中で、表示されていないアイコンがある場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」を選んでください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
操作できない	ハードディスクにアクセス可能かどうか確認し、ご相談窓口にご相談ください。 ＜確認方法＞ ①フロッピーディスクドライブを接続し、「ファーストエイドFD」をドライブにセットする。 ②電源を入れる。 ③セットアップユーティリティで「レガシーUSB」と「USB フロッピーブート」が「無効」に変更されている場合は「有効」に設定する。（工場出荷時は「有効」に設定されています。☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」） ④「再インストールを完了するため、ファイルを更新します。ファイルをコピーしますか。」と表示されたら(N)を押す。 ⑤「A:\>」と表示されたら、「C:」と入力し、(Enter) を押す。 ・[C:\>]が表示された場合 Windowsを起動するために必要なファイルが壊れている可能性があります。23ページの手順に従って再インストールを行うと、ハードディスクを工場出荷状態に戻すことができます。ただし、作成したデータなどは消えてしまいます。あらかじめご了承ください。 ・[C:\>]が表示されない場合 ご相談窓口にご相談ください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを忘れた	忘れたパスワードを変更・解除する方法はありません。ご相談窓口にご相談ください。 ＜スーパーバイザーパスワードのみを設定している場合＞ （ユーザーパスワードを設定していない場合） パスワードを忘れると、コンピューターを起動することはできません。ご相談窓口にご相談ください。 ＜ユーザーパスワードを設定している場合＞ ユーザーパスワードかスーパーバイザーパスワードのどちらかを覚えていれば、コンピューターを起動することができます。ただし、ユーザーパスワードで起動するとセットアップユーティリティで一部の設定ができなくなります。
システム起動エラーが表示された	☞ 18ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 （☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」） (F9) を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）

困ったときのQ&A

● 電源を入れたとき（つづき）

日付と時刻が正しく表示されない	● [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]を使って訂正してください。 ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合､日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはパスワード入力は要求されません。パスワード入力が必要となるように設定するには、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細設定]で「スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する」にチェックマークを付けてください。
「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」と表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされています。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合､ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
スタートメニューの一部しか表示されない	●簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには､[スタート]-[設定]-[タスクバーと［スタート］メニュー]をクリックし､「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
その他	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してみてください。 ● SCANDISKコマンドを実行してハードディスクをチェックしてください。 ● 起動時に Ctrl を押し、Safe モードで起動してみてください。

● 終了時

Windowsが終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか?設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（『操作マニュアル』「LAN機能」）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

● バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。いったんACアダプターを外し、温度が充電可能な範囲内になるのを待ってから接続してください。

●画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・［コントロールパネル］-［画面］-［Lynx3DM+］で［CRT］を［オン］に設定していますか? ● Fn ＋ F3 で表示先を切り換えてください。（デュアルディスプレイモードの場合を除く） ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、操作を再開（リジューム）したときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCD（内蔵ディスプレイ）には表示されません。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた	● 省電力機能によって､ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイまたは休止状態に入ることがあります。その場合、電源スイッチを押すと元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。Fn ＋ F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。（デュアルディスプレイモードの場合を除く）
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は､外部マウスを正しく接続しなおしてください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。キーボードを使って再起動するには､（Windowsキー）を押し､[Windowsの終了]-［再起動］を選びます。 ● キーボードで操作できない場合は､次ページの「ハングアップした」をご覧ください。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが､画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。(有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下)
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合､省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると､外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	Fn＋ F3 で表示先を切り換えてみてください。（デュアルディスプレイモードの場合を除く）
スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると､エラーが起こることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。

● 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar405jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

● アプリケーション

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Delete を押して、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒間押して、電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。
Windows Media™ Playerが起動しない	デュアルディスプレイモードのときに、外部ディスプレイ（[2]）上でMPEGファイルをダブルクリックしてMedia Playerを起動しようとすると、エラーが発生することがあります。Media PlayerでMPEGファイルを再生する場合には、内部LCD（[1]）上でMedia Playerを起動してください。

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

・プロダクトリカバリーCD-ROM
・[バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD*（☞ 11ページ手順*10*）
* アップデートFDを作成する必要があった場合のみ。
→必ず、ライトプロテクトタブを書き込み不可の状態にしておいてください。
・フロッピーディスクドライブ
→付属のフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03）をUSBコネクターに接続してください。
・付属の CD-R/RW ドライブ

●以下の点を確認する

・必要なデータはバックアップをとっておいてください。
・不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
・必ず、ACアダプターを装着してください。

再インストールする

お願い

● 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
● ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。（Windowsを起動できない場合などで圧縮を解除できないときは、手順*7*で「1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。」を選んでください。）
● Windows を終了して操作を終わり、電源が切れたことを確認する。（☞ 13 ページ）

1 フロッピーディスクドライブを接続し、コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。（☞ 11 ページ、『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）

お知らせ

「Press ESC to enter Boot First Menu」と表示されているときに、ESC を押して起動デバイスを変更することもできます。ただし、再起動するとセットアップユーティリティで設定されている設定に戻ります。再インストール時には、セットアップユーティリティの起動メニューから変更するようにしてください。（☞ 手順*3*）

2「終了」メニューから「デフォルト設定する」を選んで、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

3「起動」メニューで「CD ドライブ」が 1 番目、「フロッピードライブ」が 2 番目、「ハードディスクドライブ」が 3 番目になるように F5 、F6 を押して、設定する。

4 「ファーストエイド FD」および「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をそれぞれのドライブにセットする。

5 「終了」メニューから「設定を保存して終了」を選んで、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押し、セットアップユーティリティを終了する。

6 再インストールを実行するための条件が表示されますので、同意する場合は 1 を押す。
2 を押すと、再インストールが中断されます。

7 ＜ハードディスクの内容をすべて工場出荷の状態にする場合＞
[1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
＜パーティションを区切って、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合＞
[2. 最初のパーティションに Windows を再インストールする。]を選ぶ。

お知らせ

●ハードディスクを 1 つのパーティション（C ドライブのみ）にして、再インストールを行います。
●最初のパーティションには、2G バイト以上の領域が必要です。（また、システムの復元など Windows Me の機能を正常に動作させるためには、最初のパーティション領域を 4G バイト以上に設定することをおすすめします。）

8 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。（30 分ほどかかります。）

9 「ファイル“ I:/ja/install1.002 ”が入っているメディア2をドライブL:に挿入してください。」というメッセージが表示されたら、「プロダクトリカバリーCD-ROM2」をCDドライブにセットし、［OK］を選ぶ。
この後は、メッセージに従って操作してください。
・「…再インストールを完了するには、ファーストエイド FD を挿入して、R を押してください。…」と表示されたら、ファーストエイド FD が挿入されていることを確認して R を押してください。

困った時は

再インストールのしかた

・「再インストールを完了するため、ファイルを更新します。ファイルをコピーしますか。」と表示されたら、Y を押してください。

10 「再インストールを完了しました。」というメッセージが表示されたら、「プロダクトリカバリーCD-ROM2」と「ファーストエイドFD」を取り出し、Ctrl＋Alt＋Deleteを押して再起動する。

11 「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2を押し、セットアップユーティリティを起動する。
（☞ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）

12 「終了」メニューから「デフォルト設定する」を選んで、Enterを押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

13 「終了」メニューから「設定を保存して終了」を選んで、Enterを押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押し、設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。

14 Windows Meのセットアップを行う。（☞ 10ページ）
＜「アップデートFD」がある場合＞
バックアップディスク作成時に、「アップデートFD」を作成した場合、アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

15 Microsoft® Office XP Personalのセットアップを行う。
付属のMicrosoft® Office XP Personalパッケージ一式を用意し、パッケージに付属の説明書に従って再インストールおよびライセンス認証を行ってください。ライセンス認証を行わずに使い続けた場合、ある一定の使用回数を超えると、一部の機能が使用できなくなります。必ず認証を受けるようにしてください。

お願い

「インストールするアプリケーション」を選ぶ画面で、下記のアプリケーションを「インストールしない」に設定することをおすすめします。（インストールすると、動画の再生・取り込み時のコマ落ちやCD-RやCD-RWへの書き込みエラーの原因になります。）
・「Microsoft Excel for Windows」の中の「読み上げ」
・「Office 共有機能」の中の「入力システムの拡張」の「音声」
・「Office ツール」の中の「高速検索のサポート」

お知らせ

● Microsoft® Office XP Personal のサポートについては、付属のソフトウェアパッケージの説明書をご覧ください。
● Microsoft® Office XP Personalをセットアップしない場合、日本語入力ツールバーが取扱説明書と多少異なります。

●アプリケーションソフトをインストールしなおすには、ハードディスクの c:\util フォルダーまたはアプリケーションCD-ROM（CD-ROM ドライブは L ドライブです）の以下のファイルを使用してください。
※アプリケーションCD-ROMよりもハードディスクにプリインストールされているバージョンの方が新しい場合があります。詳しくは［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［オンラインマニュアル］→「補足説明」をご覧ください。

アプリケーションソフト名	インストールプログラム名
SMI コントロールパネル	drivers\video\ctlpanel\setup.exe
DMI ビューアー	dmi\setup.exe
電波状況モニター２	elcmon2\setup.exe
画面切換ユーティリティ	vassist\setup.exe
Adobe® Acrobat® Reader	reader\ar405jpn.exe
Intel® SpeedStep™ テクノロジアプレット	iss\disk1\setup.exe
H" INサインアップ	hinsign\setup.exe
H" IN ユーティリティ	hinutil\setup.exe
H" IN 着信表示 LED	hinled\setup.exe
インターネットスターター・オンラインメンバー・プロバイダーメニュー	istarter\setup.exe
MobileEditor 2000	medit\disk1\setup.exe
B’s Recorder GOLD	bsgold\setup.exe
B’s CLiP	bsclip\setup.exe
オンラインマニュアル	manual フォルダー内

●アプリケーション CD-ROM の以下のフォルダーに Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版用のドライバーが用意されています。
w2k￥drivers

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属 CD-ROM およびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第 4 条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第 5 条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第 7 条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、「コントロールパネル」→「電源の管理」→「詳細設定」の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定に従い、「スタンバイ状態」に入るなどの動作をします。

☞『操作マニュアル』
「省電力機能」、「スタンバイ・休止状態機能」

再度、ディスプレイを開けて操作を再開するときは、「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定により、以下のように異なります。

- 「電源オフ」以外に設定しているとき：
  ディスプレイを開ける。（ディスプレイを閉じる以外の方法でスタンバイ状態または休止状態にした場合はディスプレイを開け、電源スイッチを押す。）
- 「電源オフ」に設定しているとき：
  ディスプレイを開け、電源スイッチを押す。

キーボード

☞『操作マニュアル』
「キーの組み合わせによる操作」

フラットパッド

☞ 15 ページ

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプと3極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

状態表示ランプ ☞『操作マニュアル』「状態表示ランプ」

バッテリー状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「バッテリーパック」

電源表示ランプ

電源オン時　：点灯
スタンバイ時　：点滅
電源オフ時と休止状態時　：消灯

状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「状態表示ランプ」

Caps Lk A・NumLk 1・ScrLk ⇅
機能時：点灯

HDD **アクセスランプ**
HDD 動作中：点灯

マルチメディアポケットアクセスランプ MP
マルチメディアポケット
デバイス動作中：点灯
拡張バッテリーパックアダプターセット（別売り）装着時：
バッテリー状態表示ランプと同じ働き

画面切換ボタン

☞『操作マニュアル』
「画面切換ユーティリティ」

ディスプレイ

電源スイッチ

USER ボタン USER

☞『操作マニュアル』
「USERボタン」

電源端子
DC IN 15.6 V

モデムコネクター

☞『操作マニュアル』「モデム」

USB コネクター

☞『操作マニュアル』「USB機器」

PCカードスロット

☞『操作マニュアル』「PC カード」

スピーカー

- 音量は、タスクバー上の 🔊 を選んで調整してください。
  （音量は、キーの組み合わせで調整することもできます。
  （Fn + F5 または F6））
- スピーカーのオン / オフ：Fn + F4

LAN コネクター

『操作マニュアル』
「LAN 機能」

外部ディスプレイコネクター

『操作マニュアル』
「外部ディスプレイ」

盗難防止用ロック穴 LOCK

市販のセキュリティ用のケーブルを使用し、机などにつないで盗難を防止します。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

通風孔

4 ページ「安全上のご注意」

外部キーボード／マウスコネクター

IBM PS/2 タイプの外部キーボードまたはマウスを接続します。

パラレルコネクター

『操作マニュアル』「プリンター」

H" INモジュール

『H" INモジュールの使いかた』

ディスク取り出しボタン

CD-R/RWドライブのトレイを引き出すときに押します。

マルチメディアポケット

『操作マニュアル』
「マルチメディアポケット」

本機にはCD-R/RW ドライブが搭載されています。CD-R/RW ドライブは、30秒間アクセスがないと省電力のため自動的にドライブモーターの電源が切れます。ドライブにアクセスがあるとドライブモーターの電源が入ります。電源が入った後、ディスクからデータが実際に読めるようになるまで、約30 秒かかります。

ワイヤレスコムポート

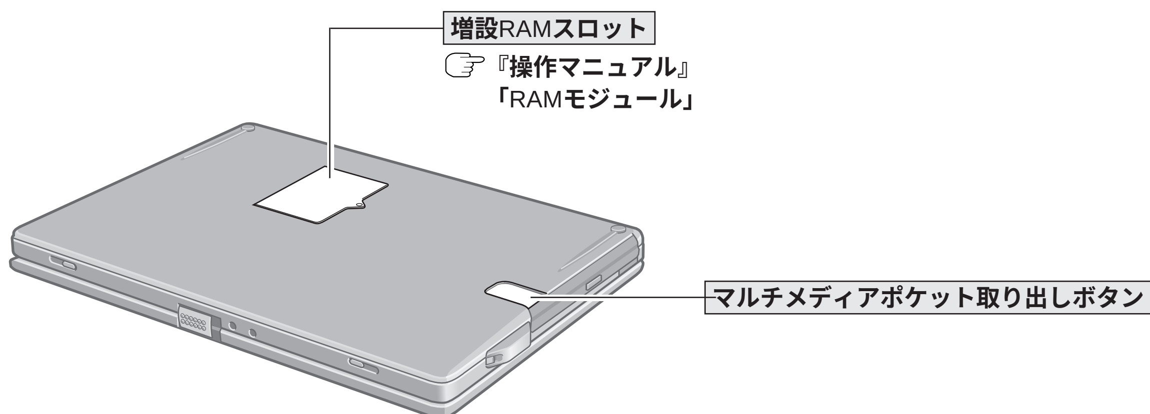
『操作マニュアル』
「携帯電話・PHS 電話」

シリアルコネクター

シリアルマウスやモデムなどの通信機器を接続します。

増設RAMスロット

『操作マニュアル』
「RAMモジュール」



マルチメディアポケット取り出しボタン

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-L2R4HMA
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 700 MHz
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト
		L2	256 Kバイト
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			64 Mバイト（最大192 Mバイト）
ビデオメモリー			4 Mバイト
LCD	タイプ		13.3型(TFTカラー)
	解像度（表示色数）		1024 × 768ドット（256色/65536色/1600万色*1）
外部ディスプレイ			1280 ×1024/1024×768/800×600/640×480ドット (4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色)
ハードディスクドライブ			約20 G*2バイト
CD-R/RW ドライブ			読み出し：最大24倍速　書き込み：最大8倍速　書き換え：最大4倍速
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）
スロット	PCカードスロット		Type I(Type II)×1スロット内蔵 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
	増設RAMスロット		1スロット(144ピン、3.3 V対応、SDRAM) 100 MHz*3
インターフェース	パラレルコネクター		ECP対応Dsub 25ピン×1
	シリアルコネクター		RS232C Dsub 9ピン×1
	外部ディスプレイコネクター		アナログRGBミニDsub 15ピン
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3
	外部キーボード/マウスコネクター		PS/2タイプ ミニDIN 6ピン×1
	USBコネクター		Universal Serial Bus 準拠 4ピン×2
	モデムコネクター		本体内蔵 (RJ-11)DATA:56 kbps（V.90 & K56flex）FAX:14.4 kbps
	LANコネクター		本体内蔵 (RJ-45)100BASE-TX/10BASE-T
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）
	H" INモジュール		内蔵
ポインティングデバイス			フラットパッド
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）ステレオスピーカー搭載
消費電力*4			最大 約60 W、(社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W
外形寸法（幅×高さ×奥行）			297 mm×25.6(前部)/29.7(後部) mm×238.5 mm （突起部を除く）
質量			約2 kg（ウェイトセーバー装着時：約1.7 kg）
使用環境条件			温度：5 ℃〜35 ℃ 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）
導入済みまたは添付ソフトウェア			Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating system、Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5、インターネットスターター、Adobe® Acrobat® Reader 4.05J、Microsoft® Word 2002、Microsoft® Excel 2002、Microsoft® Outlook 2002、Microsoft® Bookshelf Basic 3.0、Microsoft® Office XP Personal Step By step Interactive、IME 2002、DMIビューアー、USERボタンモニター、画面切換ユーティリティ、電波状況モニター、Intel® SpeedStep™ テクノロジアプレット、H" INサインアップ、H" INユーティリティ、H" 向けアプリケーションソフト、B's Recorder GOLD/B's CLiP、MobileEditor 2000等

*1 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。
*2 1 Gバイト=10⁹ バイトで端数を省略しています。
*3 RAMモジュールを増設する際、100 MHz対応であることをご確認ください。
*4 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。[LAN Wake Up機能]が[有効]に設定されているときは約3.0 W。

● 付属品仕様

AC アダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.6 V、3.85 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V(Li-ion)、3.6 Ah
	稼働時間	約 4.0 時間*2
フロッピーディスクドライブ		USB接続外付け1ドライブ3.5型（1.44 Mバイト/1.2 Mバイト/720 Kバイト）

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*2 LCDバックライト輝度最低時。また、使用条件により異なります。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

AC アダプター（電源コード付）	外部 FDD*1
品番:CF-AA1639AJ	品番:CF-VFDU03J
バッテリーパック	**拡張バッテリーパックアダプターセット**
品番:CF-VZSU19J	品番:CF-VZSU14L2
RAM モジュール	
64 M バイト 品番:CF-BAF1064J	128 M バイト 品番:CF-BAF0128J
PHS 電話接続ケーブル *2	**PHS 電話接続ケーブル *3**
(NTT ドコモ・アステルのデータ通信に対応 PHS 電話専用) 品番:CF-VCF31PJ	(DDI ポケットのデータ通信に対応 PHS 電話専用) 品番:CF-VCF31DJ
携帯電話接続ケーブル *4	**携帯電話接続ケーブル *5**
(デジタル携帯電話専用) 品番:CF-VCF31KAJ	(cdmaOne 専用) 品番:CF-VCF31CJ

*1 コンピューター本体に付属の外部ＦＤＤと同等品です。二つの外部FDDを同時に使用することはできません。
また、別売りの外部FDDに付属の外部FDD用ドライバーディスクは使用しないでください。（ドライバーは、コンピューター本体にすでにインストールされています。）

PHS電話接続ケーブル

*2 DDIポケットのPHS電話、デジタル/アナログ携帯電話、cdmaOneには使用できません。

*3 NTTドコモまたはアステルのPHS電話、デジタル/アナログ携帯電話、cdmaOneには使用できません。
また、付属しているフロッピーディスクのドライバーは使用しないでください。コンピューター本体には、PIAFS 32K、PIAFS 64K、無線モデム、無線インターネットに対応したドライバーがすでに入っています。

詳しくはパナソニックＰＣのホームページ（☞31ページ）でご確認ください。

携帯電話接続ケーブル

*4 アナログ携帯電話、cdmaOne、PHS電話は使用できません。

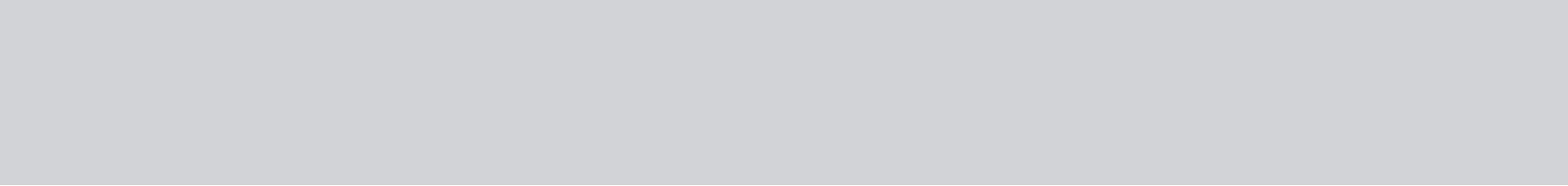
*5 アナログ携帯電話、デジタル携帯電話、PHS電話は使用できません。

詳しくはパナソニックＰＣのホームページ（☞31ページ）でご確認ください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り替えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
- 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。





保証とアフターサービス（よくお読みください）

●ハードウェアトラブルのご相談は、
「パソコンクイックサービス総合相談窓口」
までご連絡ください。
●その他のお問い合わせは、
「お客様ご相談センター」
までご連絡ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
〔消耗品（バッテリーパック）を除く〕

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

- FPANAPC*[1]アクセスについて、FPANAPCのホームページ（http://www.nifty.ne.jp/forum/fpanapc/ 2001年5月現在）をご覧ください。
  *[1] インターネットプロバイダー「@nifty」のユーザーフォーラムでユーザーどうしによる情報交換などが行われています。
- パナソニックPCのホームページ*[2]では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のオンラインメンバー登録を行っております。
  *[2] [お気に入り]→[パナソニックお勧めのサイト]→[パナソニックPCのホームページ]にリンクされています。

修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」（☞19ページ）や別紙の『お買い上求め後、すぐに「故障かな？」と思われたときは…』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、下記へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理、および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品、および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
宅配サービス利用料 は、宅配サービスをご利用の場合の、修理品の引き取りお届にかかる費用です。

ご相談窓口

修理に関するご相談

パソコンクイックサービス総合相談窓口
ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-919
全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（携帯電話、PHS電話からはナビダイヤルをご利用頂けません）
受付日および時間
365日/受付9時～12時　13時～17時
（臨時メンテナンスにより休業させていただくことがあります）

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター
電　話　フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ　(0726)24-7717
365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2001年5月1日現在

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-L2シリーズ 取扱説明書



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品 番
販売店名	☎(　　)　－	〔保証書に記載されている品番を記入してください。（例：CF-L2R4HMA）〕

松下電器産業株式会社

AVC ネットワーク事業グループ　PCC ビジネスユニット

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目2番4号 東京建物岩本町ビル

FJ0501-1061
DFQM2131ZA

